

「前女2年生一人一人に伝えたいこと」

進路指導主事

今回2年生に伝えたいことは①中だるみについて②科目選択が大事ということ③みんなの強みは「知」ということ、の3点です。

①の「中だるみ」について。2年生は「中だるみ」の時期とよく言われます。みんなもこの後、色々なところから「中だるみするな」と言われるでしょう。2年後の勝負の時にこの中だるみが明暗を分けるから口酸っぱく言うわけです。みんなも「わかってるよ、うるさいな」となるでしょう。しかし、2年生が中だるみにはまる傾向はあるのは事実なので、「どうすれば中だるみにならないか」を意識して自覚しておけると良いのでそれを話します。まずは、「初心に返ること」です。前女に入った時「ここで勉強頑張るぞ」と思った気持ち、担任の先生と面談をして「力があるからここを目指してみれば」と後押しされて頑張ろうと思った気持ち、そういう気持ちを思い出すようにしよう。もう一つは、「勉強しなければならぬ」という気持ちから少しでも「学びが楽しい」「知らないことを学んで世界が広がった」というように「学びが楽しい」と思えるように自分を持って行く。一つ一つの授業をそう受けられるように意識を持っていく。授業で知的好奇心をもって反応できるのがあなたたち前女生の最大の特徴であり、長所です。その最大の武器である知的好奇心を忘れずに、意識して授業を受けるようにしよう。最後に、「心技体のバランスをとることを心かげる」こと。限られた時間を有効に使う工夫を意識して。優先順位として、まず睡眠時間が○時間、次に大事なのは学習時間と部活の時間、それぞれ○時間必要。これを優先的に確保する。そして、残った時間でスマホ・テレビ・漫画の時間をあてる。この優先順位を間違わなければ、心(心の余裕)・技(学力)・体(睡眠をしつかりとって生活習慣が確立されれば体調を崩しにくくなる)のバランスをより良く保つことができるはずです。

②の「科目選択」について。3年次の科目選択は進路実現(第一志望合格)にむけて効率よく勉強するためにとっても大切な選択になります。しっかりと科目選択に向けて、いくつかポイントとなることを話をします。まずは、軽く考えて後悔することがないように、今から逆算してしっかり考えていきましょう。次に、「自分の学力の現在地(立ち位置)を認識すること」です。スタディーサポートの結果が返ってきます。そこでGTZ(学力到達ゾーン)が示されます。S1が出ている人は東大・京大・医学部に受かるポテンシャルがあるということです。ぜひ「その気」になってください。学校もバックアップします。しかし、そこに受かるためには今から早めに出るための努力をしていかなければ「間に合いません」。そして、自分の現在地(立ち位置)より目標が上でもびびる必要はありません。そこに向けてどう努力をしていけばいいのか、何を覚えていけばいいのかを考えていけばいいのです。そう、「今の自分の殻を破る」のです。(受験)勉強それ自体が自分の成長、知の追求、世界が広がるといったものにつながっていくのです。ベネッセのデータによれば、高2の一学期から受験勉強を始めると85~90%が第一志望に受かっているとのこと。

2学年は経年比較で模試の成績も先輩達よりもいい感じで来ています。このようにこの学年のスタンダードを上げていくこと。心配なことは、学習時間が少しずつ少なくなっているところ。一人一人が意識して、+30分学習時間を増やすようにしよう。

③の「みんなの強みは知ということ」について。①のところで述べたように、知的好奇心を忘れずに、または意識して普段から勉強する。それがあなた達の社会に出たときの「強み」になるからです。堂々と楽しく学んで、世界を広げてほしい。

まとめです。一人一人に届け！

一、中だるみを止めるために、もう一人の自分が自分を客観的に見てコントロールできるようにしよう。

一、3年生になったときの自分に、「いい科目選択をしたな！」と褒めてもらえるように！

一、みんなは学ぶ楽しさを知っている。堂々と、楽しく学べ！

一、一人一人が自覚して、この学年のスタンダードを上げろ！

一、遠慮なく、学校を、先生を使ってほしい。